

すくわくプログラム

とうきょうすくわくプログラムってなあに

幼稚園や保育所において、子どもたちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子どもたちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

全ての乳幼児の伸びる・育つ×好奇心・探求心を応援するプログラム

安全安心な環境のもと、子どもたちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心をもつきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

山中湖キャンプの活動

- ・豊かな自然の中で五感を使って、好奇心や探求心を育む
- ・共に生活をする中で新しい友だちと出会い、遊んだりして楽しく過ごす

山中湖センターに子どもたちと保育者で1泊するという非日常を体験しました。山中湖でカヌーに乗り、オールを持ちクラスのみんなで協力して動かし、風や水に触れました。森の中に入り、虫を探し歩いていると木の根元にキノコを見つける子どもたち。キャンプファイヤーでは、真っ暗な場所に火が灯り見えなかった友だちの顔が見える、温かいでも近づくと熱いということを感じた子どもたち。



このような体験から子どもたちは、五感を使い、耳で鳥の鳴き声を聴いて、目でどこにいるか探してみたり、木の燃える音を聴き煙の匂いを感じたりと、いろんな自然を経験しました。そして、自然に興味を持ち、園に帰ってから公園や園庭で自然を感じる子どもたちでした。



テーマ 自然を五感で感じる



☆園庭の隅に穴を見つけた子どもたち。「誰かいますか？」と声を掛けてみたり返事がないので、掘ってみることにした。土の色が違う、もっと掘ってみよう。

中から石や恐竜の化石のようなものが出てきた。次の日も掘り進めると想像が膨らんで「この先にはへびかもぐらがいるんじゃない？」



コツコツ掘っていた穴から「木の根っこ。この木と繋がっている?」「この石、化石かも」「この石は手に絵が描ける不思議な石なんだ」想像力を膨らむ遊びとなりました。

☆秋は落ち葉の上を歩いて、感触や音を聴いて遊び。12月「秋の葉っぱが残っている」「冬になったのにね」と植物の変化で季節が変わりゆくことや2月雪を触って「冷たいね」日陰に雪が残っていることに気付く子どもたち。



～遊びを通した子どもの姿・・・～

子どもたちは、一人ひとり興味も持つものがあります。でもそれを友だちと一緒に調べたり、工夫することで自分だけでは思いつかなかったことが見えてくることを仲間と喜んでいる姿がよく見られました。保育園での日常生活を土台に一泊二日の非日常を体験し、さらに仲間との絆が深まり、探索活動も深まったことを感じました。

すくわくプログラム

とうきょうすくわくプログラムってなあに

幼稚園や保育所において、子どもたちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子どもたちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

全ての乳幼児の伸びる・育つ×好奇心・探求心を応援するプログラム

安全安心な環境のもと、子どもたちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心をもつきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

運動プログラムのねらい

- ・身体を十分に動かす楽しさや心地よさを味わう
- ・保育者や友だちと一緒に身体を動かす活動に意欲的に参加する
- ・バランスの取れた動きを身に付ける

一年齢に合わせた活動ー

【3歳児】

- ① 一人のできる動き
- ② 友だちと一緒に動く

【5歳児】

- ① ルールが少し複雑になる遊び

※月に1回講師を招いて行う

※職員の学びの場でもある



テーマ：多様な動きを経験し、 身体を適切に使える状態を育む



☆フォーミング（ソフト積み木）を講師が並べて、歩いて行き友だちと鉢合わせしたらジャンケンをして、道を譲り合う遊びをした。

次の月は、講師が並べたフォーミングの上を自由に歩いた後、2チームに分けて、順番に形を変える。どのように置けば、相手が



歩き憎くなるかを想像しながら友だちと相談して作っていく作業をした。



☆小さいボールを足で蹴ったり、バットを使って打ってみたりした。いつもと違う身体の動きで、苦戦していましたが、繰り返すうちに当たるようになり、喜んでた。



～運動を通した子どもの姿・・・～

基本的な運動能力が身に付き、体力も向上して以前に比べて自分で進んでやろうとする姿が多く見られるようになってきました。活動に集中して参加する姿から、持久力、筋力、持続力が育まれていると感じています。怪我や転倒が少しずつ減り、大きな怪我が少なくなったのは、調整力がついてきたからだと考えられます。また、ルールのある遊びを通して決まりや、約束事を理解し体操の場面だけでなく生活の中でも自分たちでルールや決まりを考えて遊びに取り入れる姿が増え、日常の保育の中でも身体を動かすことにつながっています。